令和８年度　田原西小学校　学校評価書

１　教育目標（目指す児童像含む）

◎基本目標・・・社会の変化に対応しながら，生涯にわたって成長し続けることができるよう，知・徳・体の調和がとれ，
想像力と実践力に富む，たくましく心豊かな児童を育成する。

◎具体目標

○　めざす児童像

・健康で明るい子　・思いやりのある子　・自ら考える子　・がんばりぬく子

○　児童スローガン　　『育もう！田西っ子プライド「思いやる心・気づく心・がんばりぬく心」』

「健康で明るい子」を児童の基盤としてめざすとともに，本校の伝統を背負って立つ田西っ子プライド「思いやる心・気づく心・がんばりぬく心」を磨いていく。

２　学校経営の理念（目指す学校像含む）

「元気なあいさつが響き　教師も児童も生き生きと学び合う　地域の学校づくり」

≪目指す学校づくりの３つの視点≫

◇日々の生活にあいさつが響き，明るく活気のある学校

◇子ども一人一人が生き生きとし，学び合える学校

◇楽しく安心して生活ができ，保護者・地域住民から信頼される学校

３　学校経営の方針（中期的視点）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

(1)　「第２次宇都宮市学校教育推進計画後期計画」の理念や趣旨をふまえ，創意工夫ある教育活動を実践し，活力にあふれる学校づくりに努める。

(2)　基礎基本の確実な習得と個々の児童の学習状況や困難さに応じた指導・支援の充実を図るとともに，主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業実践・工夫改善を推進する。

(3)　心豊かに，他者と協働しながら創造的かつたくましく生きていくことをめざし，児童一人一人が未来の創り手となることができるよう，必要な資質・能力の育成に努める。
児童一人一人のよさを認め励まし引き上げる指導支援の充実に努め，自信や自己肯定感の向上を図る。

(4)　健康で安全な生活が送ることができるよう社会的規範や基本的な生活習慣を身に付け，自律して行動できる能力の育成と体力の向上に努める。

(5)　学校施設・設備の効果的な活用に努め，学校環境のより一層の充実を図るとともに，危機管理を徹底する。

(6)　家庭・地域との連携強化に努めるとともに，家庭・地域の教育力を生かした教育活動を推進し，地域に根ざした開かれた学校づくりに努める。

(7)　校内の業務の重点化・効率化を図り，教職員がワークライフバランスを意識しながら職務遂行することをめざす。

【田原地域学校園教育ビジョン】

自立を目指しながら積極的に地域社会と関わる田原っ子の育成

４　教育課程編成の方針

(1)　教育目標の具現化を図り，社会に開かれた教育課程の実現のため，本校の実態（施設・設備・職員構成・地域環境），児童の発達段階や特性，地域社会や保護者の願い等を十分に把握し，知・徳・体の調和の取れた「生きる力」を育む教育課程を編成する。

(2)　学習指導要領の原則を踏まえ，学習の基盤となる資質・能力（言語能力，情報活用能力，問題発見・解決能力等）の育成のため教科横断的な視点に立って，カリキュラム・マネジメントを進める。

(3)　道徳科（宮っ子心の教育）を核として，人・自然・地域との関わりを通した体験活動や交流活動の受実を図りながら，生命や人権を尊重する心，人を思いやる心などを育むとともに，折れない心や頑張りぬく心など心のたくましさを涵養する教育活動を推進する。

５　今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

（１）学校運営

○ア　『育もう！田西っ子プライド「思いやる心・気づく心・がんばりぬく心」』を合言葉に，活気ある学校づくりの推進

イ　ワークライフバランスを意識した業務の重点化・効率化等による教職員の勤務時間の適正化及び意識改革

○ウ　家庭・地域との連携に努め，家庭・地域の教育力を生かした教育活動の推進

（２）学習指導

○ア　主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

○イ　基礎基本の確実な習得と個々の児童の学習状況や困難さに応じた指導・支援の充実

ウ　児童が自身の考えを表出できる力を育む教科等横断的な指導の充実

○エ　家庭と連携を図った家庭学習の強化

（３）児童生徒指導

○ア　確かな児童理解に基づく一人一人の自己肯定感を高める学級経営の充実

○イ　基本的生活習慣の徹底といじめ・不登校を生まない指導の充実

ウ　目標の達成に向け最後まで頑張りぬこうとする態度の育成

エ　規範意識と高める指導の工夫と道徳教育の充実

○オ　定期的な情報モラル啓発

（４）健康（保健安全・食育）・体力

○ア　運動の習慣化と体力向上　～体育の時間における補強運動の充実と全校運動の実施～

○イ　健康課題を改善するための生活習慣の育成

○ウ　丈夫な体をつくるための望ましい食習慣の育成

エ　自身の安全を守るための判断力や実践力の育成

６　自己評価　A1～A21 は市共通評価指標　B1～は学校評価指標（小・中学校共通，地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には，A拡充　B継続　C縮小・廃止，を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

第２次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評　価
１－（１）確かな学力を育む教育の推進	Ａ１　児童は，他者と協力したり，必要な情報を集めたりして考えるなど，主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は，学習課題を解決するために，友達と話し合ったり，必要な情報を集めたりしながら，じっくり考え，進んで学習に取り組んでいる。」 における肯定的回答 ⇒児　童　８０%以上 ⇒教職員　８０%以上	①　「宇都宮モデル」を活用して分かる授業を展開し，児童が学ぶ楽しさや分かる喜びを味わうことのできる学習活動の実施に努める。 ②　「田西っ子スタンダード」を基盤として学習の約束を徹底するとともに，対話的な学習のもとになるペアやグループによる学び方を指導し，コミュニケーション力を育てる。 ③　思いを言語化するための学びの土台作りのために，朝のことばタイムや１分間スピーチの時間を設定し，話し方・聞き方の指導を継続的に行っていく。また，様々な学習場面で話合いや書く活動を設定し，目的と相手意識を明確にした言語活動を行うことで，相手に伝わる表現力の向上を図る。 ④　主体的・対話的で深い学びの実現に向け，教職員が教材研究を行うことで，児童が主体的に学習に取り組めるような仕掛けを作り，授業の充実を図る。		【達成状況】 【次年度の方針】
１－（２）豊かな心を育む教育の推進	Ａ２　児童は，思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は，誰に対しても，思いやりの心をもって優しく接している。」 における肯定的回答 ⇒児　童　８５%以上 ⇒教職員　８５%以上	①　道徳科の授業において，生命や人権を尊重する心や，人を思いやる心などを涵養する。 ②　人権教育年間指導計画に基づき，全教育活動を通して人権教育を計画的に実施する。 ③　児童会活動や各委員会におけるファミリー班活動（異学年交流の時間）・給食・清掃における縦割り班活動を通して，異学年間の交流を活性化し，相手を思いやる心を育む。		【達成状況】 【次年度の方針】
	Ａ３　児童は，目標に向かってあきらめずに，粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 「私は，目標に向かって，あきらめずに，粘り強く取り組んでいる。」 における肯定的回答 ⇒児　童　８５%以上 ⇒教職員　８５%以上	①　児童の自己肯定感を高められるよう，児童の能力や取組を児童相互に認め合う場を数多く設けるとともに，担任も認め励ます指導に努める。 ②　各教科の授業や各行事等において，児童が目標をもって取り組む機会を設けるとともに，目標の達成に向けて努力している児童を称賛する。 ③　清掃活動を中心として，粘り強く取り組むことの大切さに気付かせるとともに，実践に向けた意欲を高める。 ④　各教科や学級活動のキャリア教育を通して夢や目標をもつことの大切さを実感できるよう指導していく。		【達成状況】 【次年度の方針】

1－（3） 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	Ａ４　児童は，健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は，健康や安全に気を付けて生活している。」 における肯定的回答 ⇒児童　　８５%以上 ⇒保護者　８５%以上	①　児童が自分の健康に気を付けて自ら健康を管理できるよう，学級活動，体育，学校行事と関連を図った保健指導や日常の生活指導を行う。 ②　養護教諭や栄養士と連携して指導をすることで，食育や保健指導を充実させ，栄養バランスのとれた食事や望ましい生活習慣の形成を図る。 ③　危機を予測し自らの命を守り抜く行動力を育成するため，日常指導における安全指導を充実するとともに，交通安全教室，避難訓練等を計画的に実施する。		【達成状況】 【次年度の方針】
1－（4） 将来への希望と協働する力を育む教育の推進	Ａ５　児童は，自分のよさや成長を実感し，協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は，自分のよさや考えを生かしたり，周りと協力し合ったりして，進んで生活をよりよくしようとしている。」 における肯定的回答 ⇒児　童　　８５%以上 ⇒教職員　　８５%以上	①　「今の自分」，「ありのままの自分」を価値あるものとして捉えられるように，積極的に一人一人のよさを認め，励ましていくことで自尊感情を育む。 ②　「田西っ子スタンダード」の徹底により規範意識の醸成を図るとともに，あいさつや正しい言葉遣いについて繰り返し指導をすることで，児童相互がよりよいコミュニケーションをとれるよう促す。 ③　ハッピータイム（共遊の時間）やファミリー班活動（異学年交流の時間）を設け，児童相互および教師と児童の交流を図り，よりよい人間関係を構築する場の充実を通して，他を思いやる気持ちを育む。		【達成状況】 【次年度の方針】
2－（1） グローバル社会に主体的に向き合い，郷土愛を醸成する教育の推進	Ａ６　児童は，英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は，英語の授業や ALT との交流の際に，英語を使ってコミュニケーションしている。」 における肯定的回答 ⇒児　童　８０%以上 ⇒教職員　８０%以上	①　授業中に限らず，休み時間や給食，清掃など，児童が ALT と英語でやり取りする場の設定に努める。 ②　児童の実態に応じて，ゲームや歌などを取り入れ，興味関心を高める。 ③　活動における到達の姿を明らかにし，振り返りを位置づけることで，児童に自分の姿を見つめさせ，実践に向けた意欲向上を図る。		（達成状況） 【次年度の方針】
	Ａ７　児童は，宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は，宇都宮の良さを知っている。」 における肯定的回答 ⇒児　童　８０%以上	①　生活科，社会科，総合的な学習の時間の授業や，市内や地域での校外学習等において，学習内容に関連させながら児童が身近な地域や宇都宮市の良さに気付く指導に努める。 ②　教師自身が宇都宮市の歴史，文化，伝統産業，特産物等について理解を深められるよう努める。		【達成状況】 【次年度の方針】

２－（２） 情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進	Ａ８　児童は，デジタル機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は，パソコンや図書等を学習に活用している。」 における肯定的回答 ⇒児　童　８５％以上 ⇒教職員　８５％以上	①　授業の中で効果的に１人１台端末等を活用する時間を設け，デジタル機器を適切に活用することができる能力の育成に努める。 ②　各学年のその時期の授業内容との関連に配慮した教育図書の整備充実等，学校図書館の環境整備に努める。 ③　デジタルシティ体験を活用するなどして，児童が先端技術に触れることができる機会を設定する。		【達成状況】 【次年度の方針】
２－（３） 持続可能な社会の実現に向けた担い手を育む教育の推進	Ａ９　児童は,「持続可能な社会」について，関心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は,「持続可能な社会」について，関心をもっている。」 における肯定的回答 ⇒児　童　８５％以上 ⇒教職員　８５％以上	①　総合的な学習の時間における環境教育等を通して，環境問題への関心を高め，環境と調和しながら生きる意識や態度を育成する。 ②　道徳教育年間指導計画に基づき，全教育活動を通して道徳教育を計画的に実施し，「持続可能な社会」に繋がる道徳性を養う。 ③　教職員が，環境問題や人権教育等についての研修を実施し，持続可能な社会づくりについて学んだり考えを深めたりしたことを指導に生かすとともに，児童への意識付けを図る。		【達成状況】 【次年度の方針】。
３－（１） インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進	Ａ10　教職員は，特別な支援を必要とする児童の実態に応じて，適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「教職員は，特別な支援を必要とする児童（生徒）の実態に応じて，適切な支援をしている。」 における肯定的回答 ⇒教職員　８５％以上	①　特別支援教育コーディネーターや児童指導主任を中心に，全校で特別な支援が必要な児童に関する共通理解を図り，一人一人のニーズを踏まえた支援を組織的に行う。 ②　特別支援学級の児童はもとより，通常学級においても，必要に応じてケース会議等を開き支援方法について話し合い，それに基づく合理的な配慮を伴う指導に努める。		【達成状況】 【次年度の方針】
３－（２） いじめ・不登校対策の充実	Ａ11　教職員は，いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方は，いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」 における肯定的回答 ⇒児　童　８５％以上 ⇒保護者　８５％以上	①　学級活動，道徳科の授業等を通して，人を思いやることや人権を尊重することの大切さを指導するとともに，日常生活の中でいじめが許されない行為であることを繰り返し指導する。 ②　児童会が主体となり，児童が自ら「いじめゼロ運動」を推進できるよう支援し，望ましい児童集団の育成に努める。 ③　定期的なアンケートや教育相談等を通して児童の心の状態を共感的に理解した上で，学校いじめ防止基本方針に基づき，組織的な対応によりいじめの早期発見，早期解消を図る。 ④　学校と家庭で共通理解を図り，連携して指導にあたる。学年だよりの「ここのまど」を通して各学級での取り組みや様子を発信する。		【達成状況】 【次年度の方針】

	Ａ12　教職員は，不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方は，一人一人を大切にし，児童がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている。」 における肯定的回答 ⇒児　童　８５%以上 ⇒保護者　８５%以上	①　児童の自己肯定感を高められるよう，児童相互に認め合う場を数多く設けるとともに，担任も認め励ます指導に努める。 ②　教育相談，アンケート，Q—U調査等の結果を活用し不適応傾向のある児童の早期発見と不登校の兆候や傾向の児童に係る校内全体の情報共有を図る。 ③　必要に応じて関係職員でのケース会議を開き，不適応傾向がある児童や不登校の兆候が見られる児童の早期発見と不登校の未然防止，早期対応に努める。		【達成状況】 【次年度の方針】
３－（３）外国人児童生徒等への適応支援の充実 ３－（４）多様な教育的ニーズへの対応の強化	Ａ13　学校は，一人一人が大切にされ，活気があり，明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方は，困ったときに相談に乗ってくれたり，問題を解決しようとしたりして，私たちが楽しく学校生活を送れるようにしている。」 における肯定的回答 ⇒児　童　８５%以上 ⇒保護者　８５%以上	①　一人一人の児童が自分のもてるよさや可能性を発揮できるように，様々な集団活動の場を設定し，児童の主体的な活動を重視する。 ②　学級活動や児童会活動，縦割り班活動等を通して，児童が自他を尊重しながら活動する意識の醸成を図るとともに，児童にとって居がいのある望ましい集団づくりを行う。 ③　授業や様々な活動を通して，教職員が児童のよさや努力を認め励ます支援や指導を行う。		【達成状況】 【次年度の方針】
４－（１）教職員の資質・能力の向上	Ａ14　教職員は，分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い，学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方の授業は分かりやすく，一人一人に丁寧に教えてくれる。」 における肯定的回答 ⇒児　童　８５%以上	①　各教科において，「田西っ子スタンダード」を基盤として学習の約束を徹底したうえで，基礎基本の定着を図る。 ②　「田原西小授業のスタンダード」を活用して分かる授業を展開し，学ぶ楽しさや分かる喜びを味わうことのできる学習活動を重視する。 ③　算数科におけるＴＴ，少人数，習熟度別等の学習形態を工夫し，分かる授業を展開する。		【達成状況】 【次年度の方針】
４－（２）チーム力の向上	Ａ15　学校に関わる職員全員がチームとなり，協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「学校に関わる教職員がチームとなり，協力して業務に取り組んでいる。」 における肯定的回答 ⇒教職員　９０%以上	①　「チーム田西」の合言葉のもと，学校の諸課題への対応や，学校行事の準備・運営等に，教職員の協働性を高めることに視点を置いて組織運営に努めるとともに，困難を感じる業務について気軽に相談し，助け合える雰囲気を大切にし合う。 ②　授業を通して，効果的な言葉掛けや板書の工夫について教職員相互に伝え合うことで，学校全体の指導力の向上を図っていく。また，授業の成果や課題について相互に認め合い，理解し合う機会を繰り返し設けていく。		【達成状況】 【次年度の方針】

４－（３）学校における働き方改革の推進	Ａ16　勤務時間を意識して，業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「私は，教職員の勤務時間を意識して，業務の効率化に取り組んでいる。」 における肯定的回答 ⇒教職員　８５%以上	①　学校の働き方改革の視点に立って教職員一人一人が，勤務時間を意識し，業務の効率的な実施や計画的な処理に努める。 ②　教職員の負担軽減に向け，学校の組織運営の改善や，各種行事等の実施方法の振り返りや改善が次時に有効に生かせるような工夫をしていく。 ③　学習情報システムやさくら連絡網をはじめとした各種システムを効果的に活用したり，学級支援事務担当の協力を得たりすることで業務を効率的に進め，超過勤務時間の削減に努める。		【達成状況】 【次年度の方針】
	Ａ17　児童と向き合う時間を確保できている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は，児童生徒と向き合う時間※を確保できている。」 における肯定的回答 ⇒教職員　８０%以上 ※児童生徒と向き合う時間…児童生徒と接する「学習指導」「児童生徒指導」「学年・学級経営」「学校行事」などや，それ以外の「教材研究」「教材の準備」「行事の準備」なども含めた，児童生徒に直接関わりのある業務を行う時間。	①　週１回の共遊の時間（ハッピータイム）や年２回なかよし週間を利用し，児童と向き合う時間を確保する。 ②　教員支援業務を活用することで，休み時間等児童と過ごせる時間を確保する。 ③　学校業務・各種計画の見直しや改善を図る。特に会議の持ち方や連絡の周知方法の改善に積極的に取り組み時間を確保する。		【達成状況】 【次年度の方針】
５－（１）全市的な学校運営・教育活動の充実	Ａ18　学校は，「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は，児童生徒や教職員の交流，小中一貫教育カリキュラムの作成・見直しなど，「小中一貫教育･地域学校園」の取組を行っている。」 における肯定的回答 ⇒教職員　９０%以上 ⇒保護者　８０%以上	①　田原地域学校園ビジョンに基づいた「田原地域学校園年間指導計画」の下，自ら進んで何事にも取り組むことを重点として，小中一貫教育・地域学校園を推進する。 ②　田原中と連携し小中合同の「あいさつ運動」や６年生の進学先中学校訪問，中学２年生の宮っ子チャレンジなどの取組について，各種たよりや校内掲示，ＨＰなど様々な機会を捉えて積極的に発信し，理解を深める。 ③　地域学校園事務室や，学校一人配置職員の分科会を通して連携を図り，学校園内の相互支援体制を充実する。		【達成状況】 【次年度の方針】
５－（２）主体性と独自性を生かした学校経営の推進 ５－（３）地域と連携・協働した学校づくりの推進	Ａ19　学校は，家庭・地域・企業等と連携･協力して，よりよい児童の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は，家庭・地域・企業等と連携・協力して，教育活動や学校運営の充実を図っている。」 における肯定的回答 ⇒保護者　　８０%以上 ⇒地域住民　８５%以上	①　田原西小学校地域協議会を定期的に開催し，学校経営方針への保護者，地域住民の意見反映や，学校関係者評価の実施などを行っていく。 ②　登下校や校外での体験活動時の安全確保や，授業への支援などにおいて学校支援ボランティアを有効に活用し，家庭や地域と連携して教育活動の充実を図る。 ③　家庭や地域社会から得られる情報を教育資料として学習活動に反映させ，児童が将来の夢や希望を描いたり，実現に向けて努力したりする態度を育成する。		【達成状況】 【次年度の方針】

６－（１） 安全で快適な学校施設整備の推進	Ａ20　学校は，利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は，利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 における肯定的回答 ⇒教職員　９０%以上 ⇒保護者　８５%以上	①　毎月，各教室，特別教室，廊下，体育館校庭等学校内施設・設備について，チェック項目に基づく安全点検を実施し，危険個所については迅速な改善や修繕に努める。 ②　危機管理マニュアルを整備するとともに，避難訓練や引き渡し訓練等を通して，火事，地震，竜巻，不審者侵入等の不測の事態への備えを万全にする。 ③　熱中症対策，感染症予防対策など，学校全体で時期に応じた保健指導管理に努める。		【達成状況】 【次年度の方針】
６－（２） 学校のデジタル化推進	Ａ21　コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から，授業（授業準備も含む）を行うための準備ができている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は，授業（授業準備を含む）や業務に，デジタル※を積極的に活用している。 ※デジタル…一人一台端末，ミライム，スズキ校務，さくら連絡網など」 ⇒教職員　９０ %以上	①　１人１台端末を効果的に活用する授業づくりについて校内研修や実践例の情報共有を行う。 ②　デジタルを活用した授業や校務の効率化についての研修を，ＩＣＴ支援員の協力により実施する。 ③　児童がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段に親しみ，適切に活用する能力を育成できるよう，授業において積極的にデジタル機器を活用する。		【達成状況】 【次年度の方針】
小・中学校，地域学校共通，本校の特色・課題等	Ｂ１　児童は，時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は，時と場に応じたあいさつをしている。」 における肯定的回答 ⇒児　童　　８５%以上 ⇒保護者　　８５%以上 ⇒地域住民　８５%以上	①　ＰＴＡや地域と連携を図ったあいさつ運動を推進し，自然にあいさつができる学校を目指す。 ②　家庭や地域でも時と場に応じたあいさつができるよう，保護者の意識を高めたり，協力を得たりできるような啓発の仕方を工夫する。 ③　学級活動において，「場に応じたあいさつ」について話合い活動を行い，あいさつを進んで行う態度の育成を目指す。		【達成状況】 【次年度の方針】
	Ｂ２　児童は，きまりやマナーを守って，生活をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は，きまりやマナーを守って生活している。」 における肯定的回答 ⇒児　童　８５%以上 ⇒教職員　８５%以上 ⇒保護者　８５%以上	①　各学級で「田西っ子スタンダード」の意識化と徹底を図り，規範意識を醸成する。 ②　廊下の歩行，チャイム着席を含む時間の厳守を重点課題とし，秩序と安全の大切さについて，根気強く継続的に指導する。 ③　きまりやマナーを守って行動していることを，児童会活動等で児童が相互に認め合う場や教師が称賛する機会を設け，教師を中心に規範意識の醸成を図る。 ④　月１回生活目標の達成状況の確認を行い，今後の方針の確認を行い，同一歩調で指導する。		【達成状況】 【次年度の方針】

	Ｂ３　児童は，毎日家庭学習に取り組んでいる。 【数値指標】 学校独自アンケート 「児童は，毎日家庭学習に取り組んでいる。」 における肯定的回答 ⇒児　童　８０%以上 ⇒保護者　８０%以上	①　年度当初に保護者向け「家庭学習のすすめ」や児童向け「自主学習メニュー」を配付し，家庭学習に積極的に取り組めるように支援する。 ②　家庭学習の内容から児童のよさや努力していることなどを紹介し，称賛したり伝え合ったりすることにより，成果を認め励ます機会の充実を図る。 ③　家庭学習強化週間を設けて保護者に呼び掛け，学校と保護者が協力し合って定着を図る。		【達成状況】 【次年度の方針】
	Ｂ４　児童は，本を読むことが好きである。 【数値指標】 学校独自アンケート 「児童は，本を学習に活用したり，進んで読書したりしている。」 における肯定的回答 ⇒児　童　８０%以上 ⇒保護者　８０%以上	①　図書室の活用はもちろん，月１回の朝の読み聞かせ・朝の読書や外部人材の活用を通して，読書指導や言語環境の充実を図る。 ②　校内読書週間を設けて，児童に図書室利用を啓発するとともに，図書委員会による様々な取組を行う。 ③　児童の意欲を高めるよう学習センター，読書センター，情報センターとしての機能を充実させる図書室の整備を行う。		【達成状況】 【次年度の方針】
	Ｂ５　児童は，体育の授業や休み時間に進んで運動している。 【数値指標】 学校独自アンケート 「児童は，体育の授業や休み時間に進んで運動している。」 における肯定的回答 ⇒児　童　８５%以上 ⇒保護者　９０%以上	①　昼休みなど，体育館を開放することで天候に左右されずに運動できる環境を整えるとともに，各学級で休み時間の外遊び，さらに冬季の外遊びを奨励し，児童の意識を喚起する。 ②　体育的イベントを企画・実施し，運動の楽しさを体験させる。 ③　縦割り班でのなわとび週間の実施により，児童各自の目標達成に向けた意欲高揚と体力向上を図る。 ④　各クラスによる共遊(ハッピータイム)だけでなく，縦割り班での共遊の時間も設けて楽しく運動する時間を増やす。		【達成状況】 【次年度の方針】
	Ｂ６　児童は,「田西っ子プライド」を意識して行動し，田西小の一員であるという自覚をもって生活している。 【数値指標】 学校独自アンケート 「児童は,「田西っ子プライド」を意識して,「気づく心・思いやりの心・がんばりぬく心」を発揮して生活しています。」 における肯定的回答 ⇒児　童　８５%以上 ⇒教職員　８５%以上	①　「田西っ子プライド」の具体的な姿を分かりやすく示すとともに，粘り強くやり抜くことを意識して生活できるよう，向上心や自尊心の醸成を図る。 ②　清掃や縦割り班活動を通して,「気づく心・思いやりの心・がんばりぬく心」を意識した声掛けを行ったり，称賛したりすることで，３つの心を育む。		【達成状況】 【次年度の方針】

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7　学校関係者評価

8　まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。
